

橙の木

健康で心ゆたかな子 深く考えくふうして学ぶ子 進んではたらく子

6月号 杉並区立杉並第六小学校 <http://www.suginami-school.ed.jp/sugi6shou/>



慌てず、焦らず、着実に「学校生活」を取り戻す

校長 守田 聡美

学校が再開します。約3カ月間の臨時休業が終了しました。臨時休業中に提出された課題や学校に届いた約400枚もの葉書からは、子供たちが自ら考え工夫し懸命に取り組んだ様子が伺えました。久々の登校日には、校庭を元気に駆け回る子供たちの姿や友達や教職員と楽しそうに語り合う様子が見られました。改めて、これまでの保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力に、心より厚く感謝申し上げます。

再開するにあたり「杉並区立学校感染症予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症）」にそって、校内環境を整えるとともに、子供たちに手洗いや咳エチケットの励行について指導し、学校生活を安全に送れるよう、教職員一同全力で努めて参ります。都区内における感染状況が随時変化する中、学校での感染リスクを抑制させるために、引き続きご家庭における感染予防や健康管理にご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。

子供たちの多くは臨時休業や外出自粛により、身体的・精神的ストレスを抱えているものと考えられます。まず遊びや運動で十分に体を動かす時間を確保し、生活リズムを取り戻して、学びの基盤となる「心身の健康」を整えたいと思います。イライラのはけ口としていじめや暴力、差別や偏見などが起きないように子供の心に寄り添い、スクールカウンセラーやご家庭と連携しながら指導して参ります。お気づきの点やご不安なことがあれば遠慮なく担任等にご相談ください。教職員一同、子供たちと共に「楽しい学校生活」を築いて参りたいと思います。また、子供の学力を保障するため、夏季休業の短縮や土曜授業の実施増、週時程の変更等、教育課程を変更いたします。理解が不十分な場合には、もう一度教える等補充し、必要に応じて個別に補習等を実施いたします。どうぞご理解とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

◎今後の予定について

(1) 子供の学力を保障するための取組

- ①土曜授業を月2回実施（6月・8月・1月・3月は月1回） ※6月27日、7月11日、7月18日
- ②水曜日の時程変更 全学年4時間授業 → （1～2年生）4時間授業、（3～6年生）5時間授業
- ③水曜日の補習学習の実施 水曜日 5時間目（1～2年生）、6時間目（3～6年生）

※補習学習は該当者のみです。開始時期、該当者については今後お知らせします。

(2) 夏季休業日の変更について

- 7月31日（金）1学期終業式
- 8月 1日（土）～ 8月23日（日） 夏季休業日
- 8月24日（月）2学期始業式

(3) 個人面談について ※1学期の保護者会は行いません。

- 8月 3日（月）～ 8月 7日（金）

(4) 夏季補習学習について

- 8月 3日（月）～ 8月 7日（金） ※該当者のみ、改めてお知らせします。

※1学期中の主な行事は中止、または延期となります。年間予定については、今後の状況をみながら、決まり次第、お知らせします。

6月の学校行事

日	曜日	主な予定		
1	月	分散登校	分散登校のクラス 分けについては 緊急メール・HP (5/22)をご確 認ください。	
2	火	分散登校		SC
3	水	分散登校		
4	木	分散登校		安全指導
5	金	分散登校		
6	土			
7	日			
8	月	午前授業	朝学習	給食なし
9	火	午前授業	朝学習	給食なし SC
10	水	午前授業	朝学習	給食開始
11	木	午前授業	朝学習	
12	金	午前授業	朝学習	
13	土			
14	日			
15	月	全校朝会（放送）	通常授業開始	
16	火	朝学習	SC	
17	水	朝学習		
18	木	朝学習	避難訓練	
19	金	朝学習		
20	土	校庭開放		13:00～17:00
21	日	校庭開放		9:00～17:00
22	月	全校朝会（放送）		
23	火	朝学習	SC	
24	水	朝学習		
25	木	朝学習		
26	金	朝学習		
27	土	土曜授業	校庭開放	13:00～17:00
28	日	校庭開放		9:00～17:00
29	月	全校朝会（放送）		
30	火	朝学習	SC	

※SCはスクールカウンセラー来校日です。
としょかんだよりは学校HP上でご確認ください。

6月生活目標

「身の回りを清潔にしよう」

安全目標「雨の日の過ごし方を工夫しよう」

保健目標「歯を大切にしよう」

給食目標「丈夫な体をつくろう」

生活指導 池田 幸子

久しぶりの登校です。活気のある学校が戻ってきました。心も体も少しずつ学校生活に慣らしていきましょう。感染症予防のため、検温、マスクの着用や手洗いなどの衛生管理が必要です。ハンカチや汗ふきタオルを忘れずに持たせてください。また、新年度のスタートです。学習用具、傘などの記名を改めて、ご確認ください。

健康管理について

- ・毎朝、児童の検温を行い、「けんこうかんさつカード」に記入してください。マスクの着用もお願いします。
- ・登校時に「けんこうかんさつカード」を、児童に持たせてください。各学年の靴箱の前で確認をしますので、取り出しやすいところに入れてください。
- ・「けんこうかんさつカード」を忘れたり、未記入があったりした場合は、児童に南校舎の渡り廊下まで移動してもらい、検温と健康観察を行います。
- ・南校舎のコンピューター室を発熱時の待機場所とします。児童に発熱等の風邪症状が見られた場合には、児童を待機させ、保護者の方の引き取りをお願いしますので、連絡が取れるようお願いいたします。児童の発熱時に別室での対応になることをどうぞご了承ください。
- ・発熱等の風邪症状がみられる場合には、無理をせず自宅で休養するようにしてください。感染症予防のために出席できなかった場合も欠席扱いとはなりません。

欠席連絡について

欠席連絡は、感染症対策のため、当面の間、電話連絡とさせていただきます。

連絡帳は、保護者の皆様と担任との連絡にご利用ください。登校時間までにご連絡をよろしくをお願いします。

学校生活で毎日用意していただく持ち物のお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記のことを児童に毎日持たせていただくよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

○ハンカチ・ティッシュ・汗拭きタオルについて

こまめな手洗いを励行していきます。手を拭く清潔なハンカチを毎日身に付けさせてください。

この他に、ティッシュ、汗拭きタオルも併せて持たせ、毎日持ち帰るようご指導ください。子供同士の共用をさけるためご協力をお願い致します。

○水筒について

冷水器は感染拡大防止のため当面の間、使用できません。

◎水筒持参についての留意点

①登校時：首（肩）から下げるか、手提げに入れるなど安全に配慮して登校します。

交通事故に十分注意し、振り回したりしないようご指導ください。

②中身：冷水、白湯、お茶

③飲む時間：休み時間、校庭での体育など

（登下校時は、飲みません。）

④その他：衛生上、毎日、ご家庭で洗浄をお願いいたします。

また、子供同士でのやりとりはしないよう、ご指導ください。

○マスクとマスク袋について

マスク着用のご協力をお願いします。体育や給食など、マスクを外す際に子供自身で管理できるように、マスクを入れるジップロックやマスクケースなどの袋もご用意いただき、記名をしてください。また、安全にマスクを外したり取り出したりできるよう、ご家庭でもご指導いただけますようお願い致します。

※予備のマスクもできればご用意ください。

（予備のマスクは衛生上、マスクを管理する袋とは、別の袋に入れてください。）

○健康観察カードについて

毎朝登校前に検温をお願いいたします。健康観察カードにご記入いただき、毎日持たせてください。各学年の靴箱の前で確認をさせていただきます。発熱、風邪症状が見られる場合には無理せず自宅でお休みください。健康観察カードを忘れた児童には健康観察を行い、様子によっては迎えをお願いすることもありますので、ご了承ください。

※持ち物にはすべて記名していただけますようよろしくお願いいたします。

※ご家庭にも配布しましたが、3Pにある「手洗い」「咳エチケット」について、ご家庭でも確認、実践していただけるよう、どうぞよろしくお願いいたします。学校でも徹底してまいります。



感染症対策

へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの前に

・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう

1



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのばすようにこすります。

3



指先・爪の間に念入りにこすります。

4



指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗いします。

6



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



何もせずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手でおさえる



マスクを着用する（口・鼻を覆う）

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を確実に覆う



2 ゴムひもを耳にかける



3 隙間がないよう鼻まで覆う

首相官邸
Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省

検索

